



救い主が人として生まれ、十字架において死なれ三日目に復活されることは聖書が語っていたことですが、聖書はイエスキリストが再びこの地上に来られること、つまり再臨についても約束しています。「救い」が完成するのは、イエスキリストが再び来られる時です。そして、この世界は神が神として支配される世界になり、人間は人間としての本来の姿を取り戻し、自然界も本来の姿に戻ります。神がこの世界を作られた時のその平和がこの地上に取り戻されるのです。イエスキリストの再臨は終わりの出来事の始まりです。

① キリストの再臨

“しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。” 20

“すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることになります。” 1テモテ4:16-

② からだの復活

“キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。” 21

“しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。…しかし、それぞれに順序があります。まず初穂であるキリスト、次にその来臨のときにキリストに属している人たちです。それから終わりが来ます。” 1コリト15:20-

③ 悪と死への審判

“それから終わりが来ます。そのとき、キリストはあらゆる支配と、あらゆる権威、権力を滅ぼし、王国を父である神に渡されます。すべての敵をその足の下に置くまで、キリストは王として治めることになっているからです。最後の敵として滅ぼされるのは、死です。”

1コリト15:24-

“また私は、死んだ人々が大きい者も小さい者も御座の前に立っているのを見た。数々の書物が開かれた。書物がもう一つ開かれたが、それはいのちの書であった。死んだ者たちは、これらの書物に書かれていることにしたが、自分の行いに応じてさばかれた。海はその中にいる死者を出した。死とよみも、その中にいる死者を出した。彼らはそれぞれ自分の行いに応じてさばかれた。それから、死とよみは火の池に投げ込まれた。これが、すなわち火の池が、第二の死である。”黙示録20:11-